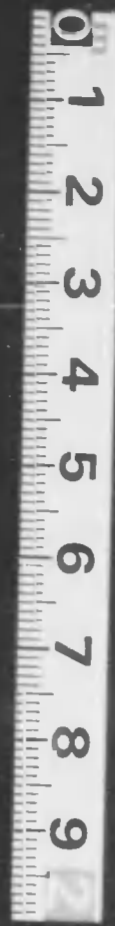


週寫眞  
報

編輯局報情  
ンセ+...四月二







わが国はいつの世にも瑞穂の國に變りはない。  
 食料自給は我國の根幹をなしてゐる。  
 南方に依存するやうな心の緩みが食料増産をさ  
 またげては御先祖様に申譯ない。

# 南へ南へ はルーポガン だ前の眼も

家部がわの移に河渡行強でい緊を舟小にち直 ちらかべむ止しうらばはし手の整活



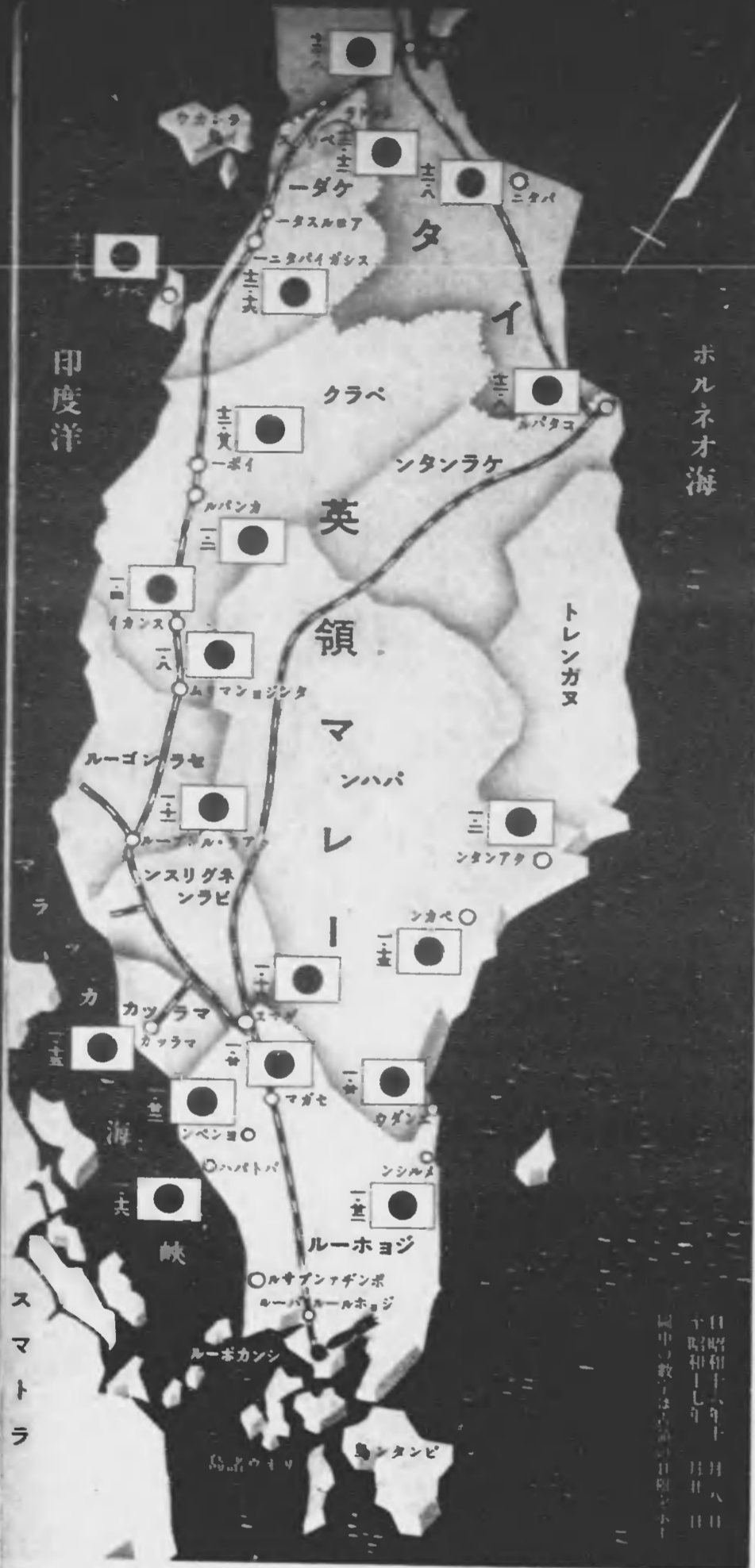
るす理修を梁橋たし壊破つ當に先敗か敵 みとび飛に流濁も變勢つなにつ



車戦がわむ進し押にし押たひてし調統を碍障の切に下輪鋭く甚



撮影 日本映畫社



☆マレーの戦局はいまや最後の段階に突  
 入し、戦況はジョホール州最南端に集約  
 されて、シンガポール雁字搦めの態勢が  
 完成されつつある。  
 鮪と毒蛇の出没する死の流れを渡り、  
 千古斧鉞を入れぬ密林を潜つて強固な敵  
 陣地を破碎しつゝ、惡戦苦闘をつゞけるこ  
 と二ヶ月、たかいまやムアル河畔の大包  
 圍殲滅戦を最後にシンガポールへの垣々  
 たる奮進街道はひらかれたのだ。  
 イギリス軍當局はかねてよりわか進撃  
 を前衛陣地において阻止すべく殆んど兵  
 力の全部をあけてマレー中部に進出せし  
 めてゐたためシンガポール残存の兵力は  
 僅か一萬足らずといはれ、わが直接攻撃  
 を自陸に牙城シンガポールもいよく降  
 服か殲滅かの最後の關頭に追いつめられ  
 るに至つた。

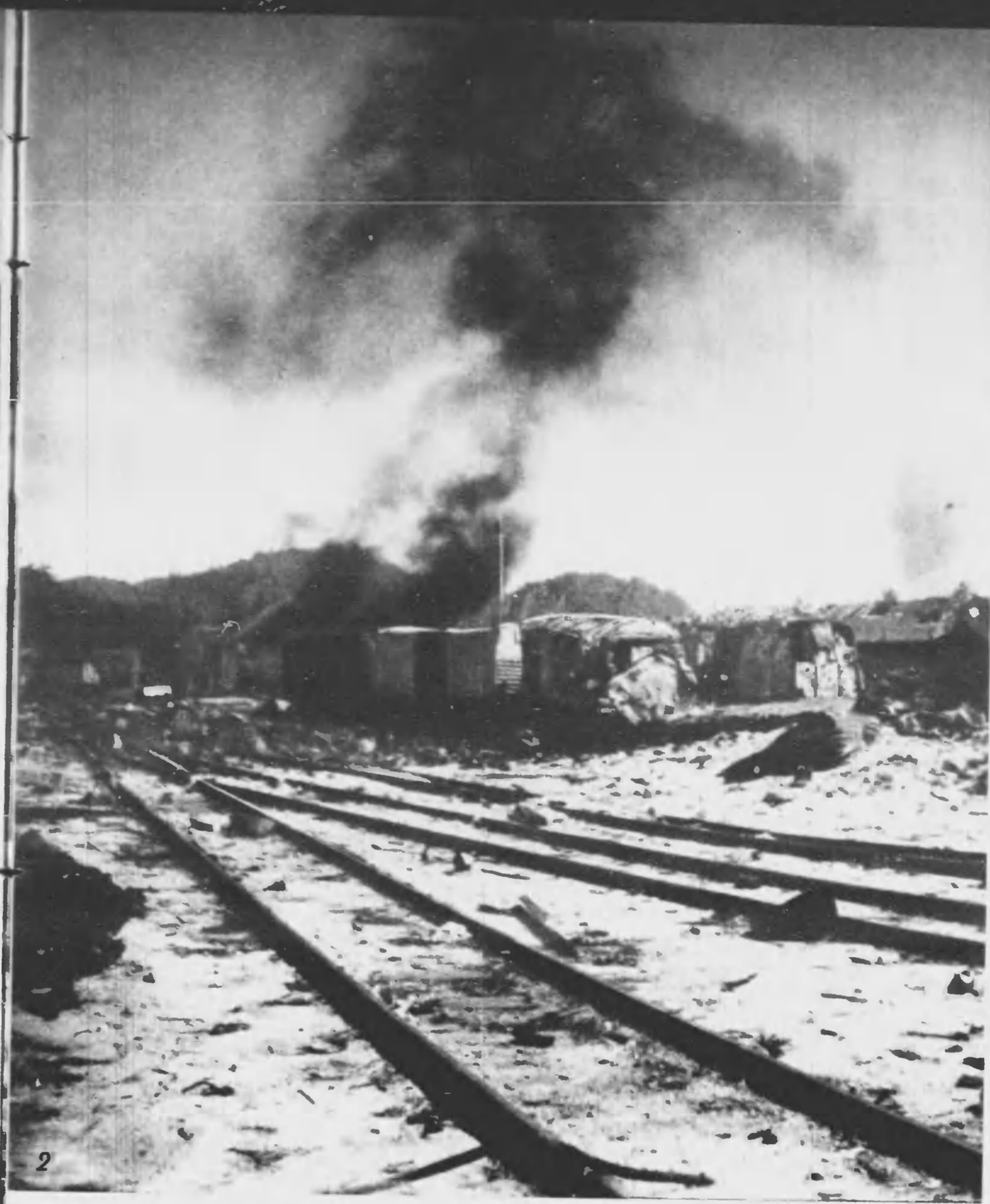


前線はルーパーガンだ  
前線はルーパーガンだ

★陸軍宣傳班から  
第一報  
マレー戦線

撮影  
富集團宣傳班

- 1 敵戦車を貫通したわが砲弾痕
- 2 魚上り化したイボリの敵弾薬庫  
積所と炎上する重油タンク
- 3 わが進軍を阻んだジットラライ  
の敵戦車壕
- 4 敵ダイナマイトによつて爆破さ  
れたアロルスクー橋梁
- 5 焚き草植物で擬装されたアロル  
スクー飛行場附近の敵トーチカ
- 6 ジットラライの敵砲兵陣地の残  
骸



2



4

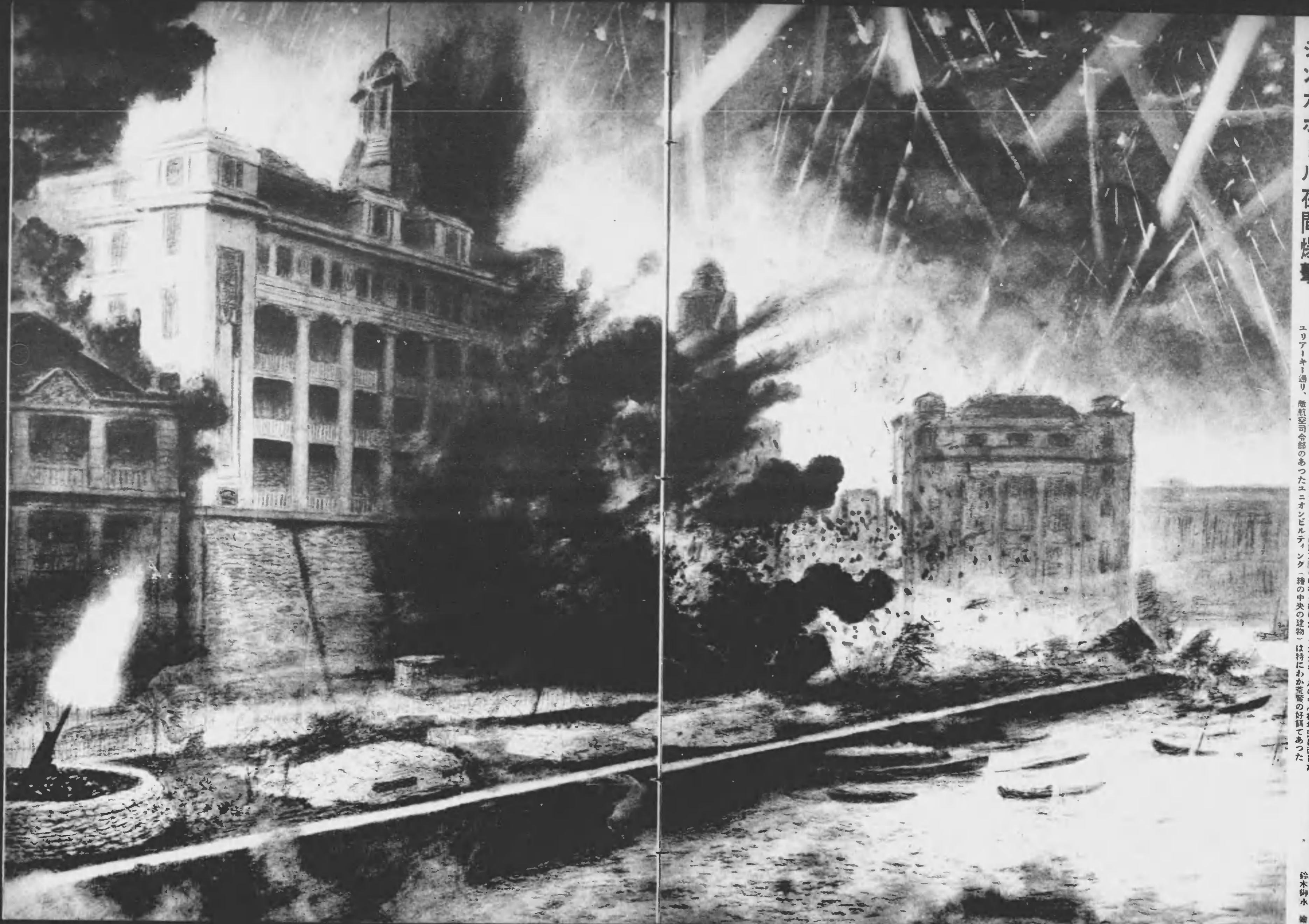


6



6





シンガポール夜間爆撃

晝夜をわかないわが空襲のシンガポール爆撃に同市中は断末途の啼吼を續けた。シンガポールの中心街埠頭に面したユリアーキー通り、敵航空司令部のあつたユニオンビルディング（島の中央の建物）は特にわが空襲の好餌であつた。

鈴木御水 繪





# 老英帝國東亞百年之侵略基地 新加坡



日本郵船、大坂商船、正金、華興、暹南の各銀行會社が軒を並べるラングス廣場  
シンガポール政廳（下右）  
シンガポール中央停車場



## 新戰場 辭典

# シンガポール

香港、マニラ、シンガポールが極度に増強され、英米並南洋の對日包圍陣が結成された今日では日本の南進など物の數ではない。殊にシンガポール海軍基地の用意全く成り、一旦西南太平洋に戦火波及の際には大英帝國の軍艦は南海を懸するであらう。

大東亞戦争の勃發前、イギリスはかく憂慮してゐた。實際、米軍部をはじめ米軍艦隊をあげてのシンガポールに対する自信と信頼は米軍海軍の基地共同使用といふ有利な條件もあり、實に絶大なもの

「果敢の兵科員、米軍の機嫌とあり、重要に金をつぎ込み、抗日に走つてゐた彼等にも大東亞戦争の勃發前、日本が負うべきことだらう

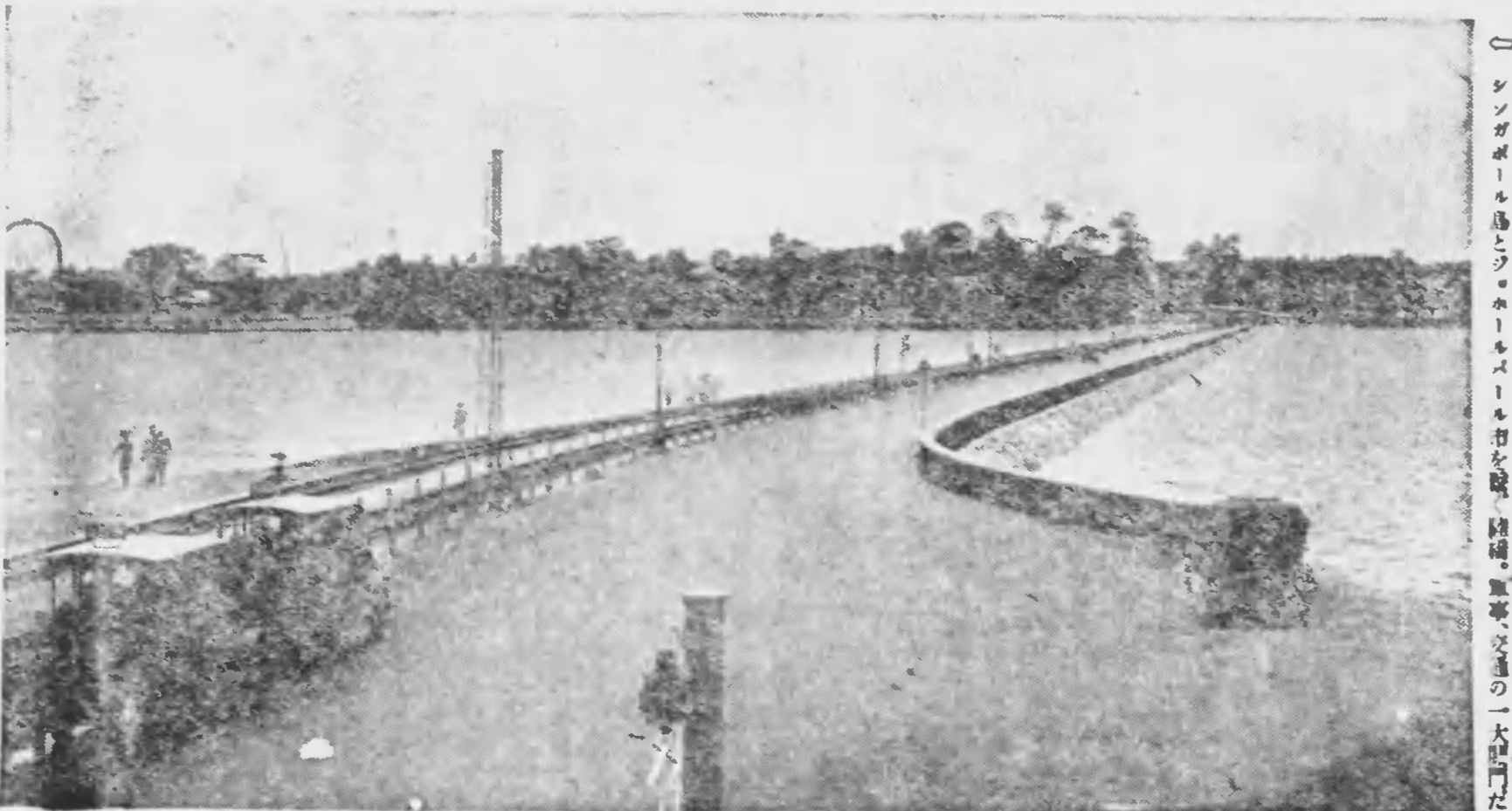
シンガポールは歐亞を結ぶ交通上の要衝として航行船舶の八割以上をここに寄港し、また歐洲、南印各地、遠洲とも定期航空路が通じてゐた。軍事的には香港を前進根拠地としてイギリス東亞政策遂行の先に選べたイギリスの警備はまづ暫くやうもあるまい。

の中心據地たるは、遠洲ドーウイシと結んで遠洲の防衛根據地となり、マレー、印度に對する探題ともなり、さらにスマトラ、ジャバ、ボルネオ等南洋諸島へは大きな睨みを利かせてゐた。又こゝを據地とすれば米太平洋基地を適宜活用して日本軍の南洋進軍を阻みうる一方、日本の通商線を襲ふのは米英の海軍力のある以上何でもないことだと考へてゐたのである。

シンガポールが世界無比、難攻不落を誇るセレター海軍根據地には戦艦數隻を横付けにできる大埠頭、五万トンの大戦艦を積載して修理ができる浮ドック、世界第一の乾ドック等々、さらに一年間大艦隊の作戦を可能ならしめるといはれる二百万トンの貯油タンクが島内は勿論、附近の島々に建設されてゐる。この根據地防衛のために日本軍の猛進を阻むに、米英製最優秀機が多数配置されてゐるが、これは連日米艦隊の好餌となつてゐる。またチャワン、ブラカンマチ、カンニング、チャンギー、テコン、ベンガラ等各要塞には各種の強力な大砲をはじめ、できうる限りの武装を施し、要塞區域の全機能を動員して建設しただけであつて敵が難攻不落と誇るのも無理はない。

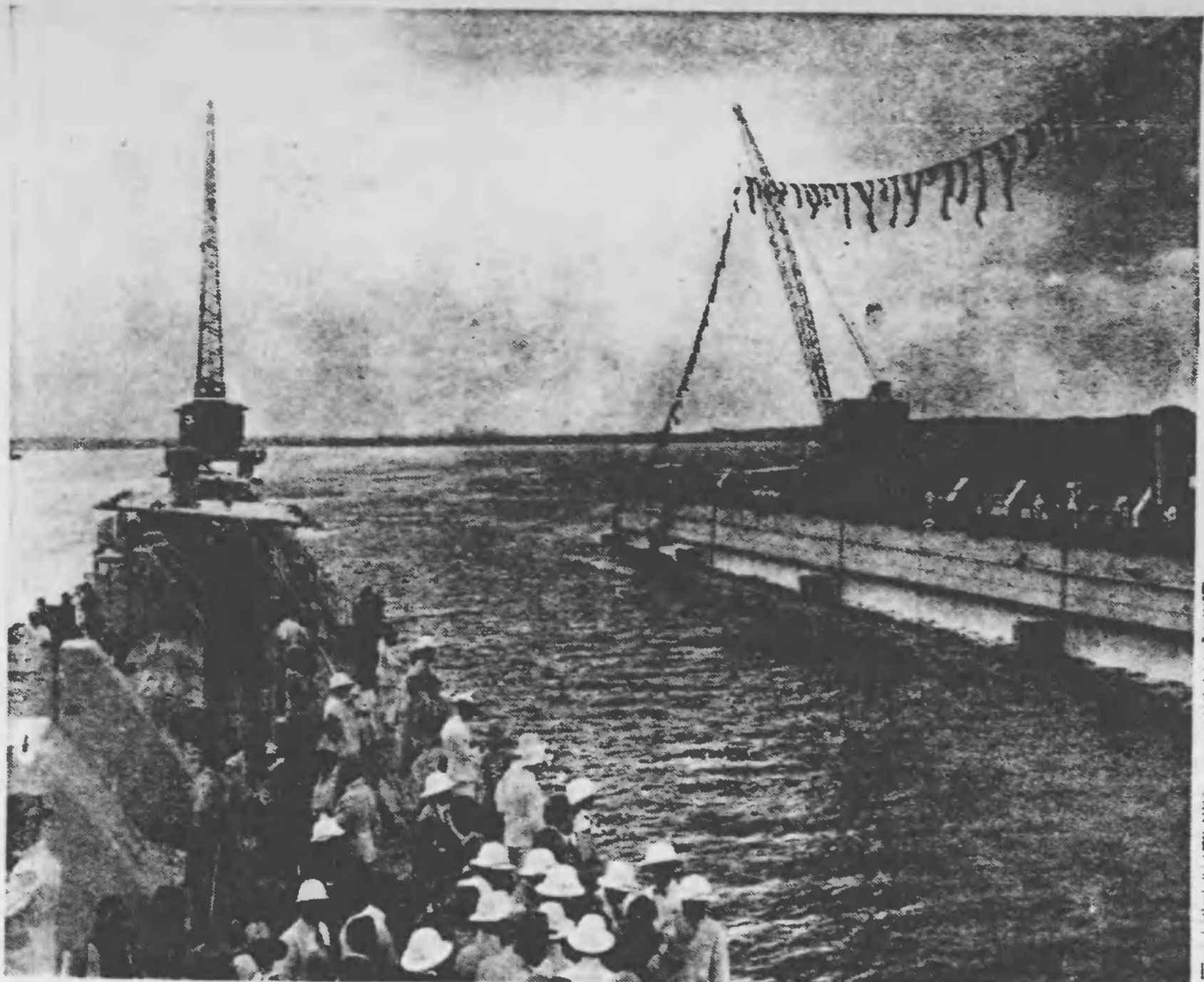


シンガポール島とシマラタラ島との間は陸橋で連絡してゐる。工費一千七百万ドル、五年の日子を



シンガポール島とシマラタラ島との間は陸橋で連絡してゐる。工費一千七百万ドル、五年の日子を





一九二八年八月に落成した浮ドック。全長八百五十五フィート、幅二百フィート、重量約二十五万ポンド（邦貨約二千五百五十万圓）



シンガポール防衛に派遣された海兵隊は、マレーのジャングル地帯に大規模な機動演習を行つてゐた



イギリス兵渡河作戦の演習といひたいが彼等はこんなことより夜の四時、暗い場所を歩みながら来るのだから身が冷たいことおびたらしい



埠頭には米英露等の輸送船が停付けられ、マレー半島防衛の各種の軍需品が積み付けられてゐた



島内の貯水池。周囲は公園化され、時々はこゝに遊ぶ人も多い。遊園はこゝを建設されることを機嫌に恐れてゐる

費して完成したこの陸橋は全長四千四百六十五呎、幅員六十呎、複線列車の運轉のほか、自動車、馬車の交通が可能で、シ・ホール寄りに電力による設備が設備されてゐる。シンガポールの防衛上、この陸橋の持つ役割は極めて重大である。

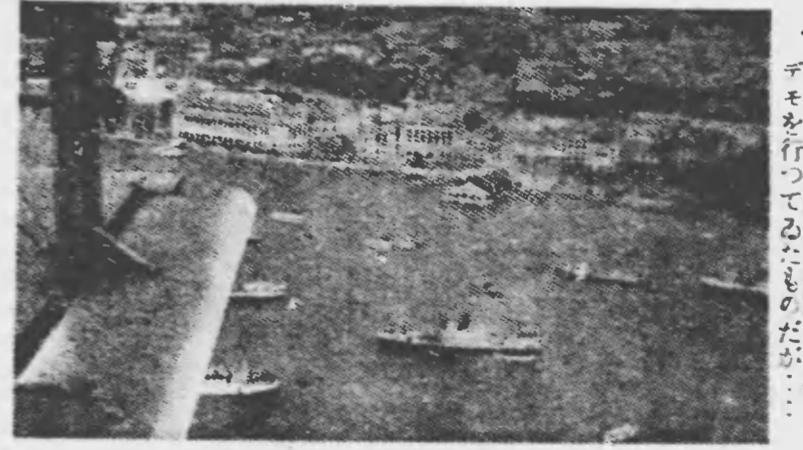
シンガポール大根拠地の建設に要した総経費約一千六百万ポンド、邦貨約二億七千六百四十万圓、毎年維持費約五十万ポンドの巨額に達するが、これら費用の大半はマレー植民地の賦金、海峽植民地の歳入で賄はれてゐるからイギリス本國政府の腹は少しも痛んでゐない。その歳入の主なものには阿片販賣の利益金、ゴム、錫の輸出税などである。シンガポールの人口約八十万とみて、その約八割が支那人であるから阿片の消費も大きく一九三七年度には阿片よりの収入が總歳入の約二割五分に當り、また同年ゴム、錫の輸出税による収入は總歳入の約四割二分六厘に達してゐる。老練なイギリスは無智な住民の膏血を搾つてシンガポールを建設、さらにその維持費には非人道にも印度阿片を支那人に賣りつけ、自國資本の經營するゴム、錫の高率な輸出税をあるといふ徹底的な搾取ぶりである。わが領土に日の没することなしとよくイギリスの植民政策の一端がうかがはれよう。

要塞を準備する駐屯軍は本國

派遣のイギリス兵のほかマレー兵、インド兵、暹羅兵などが當つてゐるが、英本國の無策無能ぶりに暹羅は今にも英本國に絶縁状態をたゞきつける位に憤激してをり、マレーで英兵の前面に立たされて皇軍に抗戦してゐる暹羅兵の去就も安心できない。さらに印度のパンジャブ兵などはことごとくに反英虎の威をかつたイギリス空軍がシンガポール港上を飛翔して盛んにデモを行つてゐるのだ。

マレーの總人口約四割二分は華僑である。特にシンガポールではその約八割が華僑で占めてゐるから、これら華僑の動向はなかなかにゆるがせにできない問題である。重慶側はこゝを南洋華僑への宣傳基地として屢、要人を派し、救國献金や全面抗日の運動を策謀してきたのであつたが、重慶側のデマ放送が次第に暴露され、米英が粉砕され、日本の實力が眼前に展開する一方、新中國の着實な成長が明らかになるに及んで、彼等の迷夢も漸く覺醒される時機が到来した。また華僑につく民族としてマレー人があつたが、彼等は永年に及ぶイギリスの陰險な植民地政策のために全く無氣力化されてしまつてゐる。しかも彼等は元來ものをつきつめて考へたり、信ずる所に向つて行動しようなどといふ熱意にとほしく、いままかに愛國心とか、民族意識とか、民族解放とか、日本と提携してゆかうなどといふ積極性はのぞむべくもないわけである。

シンガポール陥落後のマレー半島の文化工作として、これら兩人種に對する日本の指導的役割は東亞共榮圈確立の建前から極めて重大であるといへよう。



虎の威をかつたイギリス空軍がシンガポール港上を飛翔して盛んにデモを行つてゐるのだ

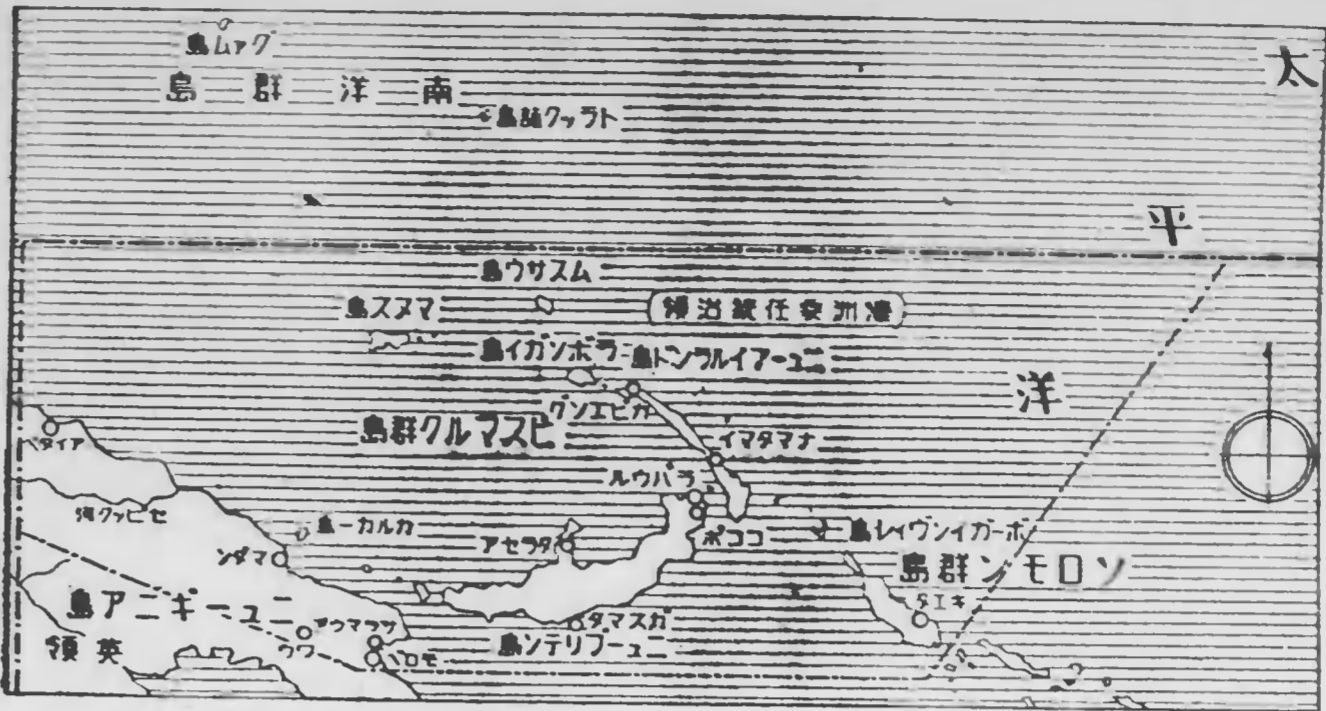




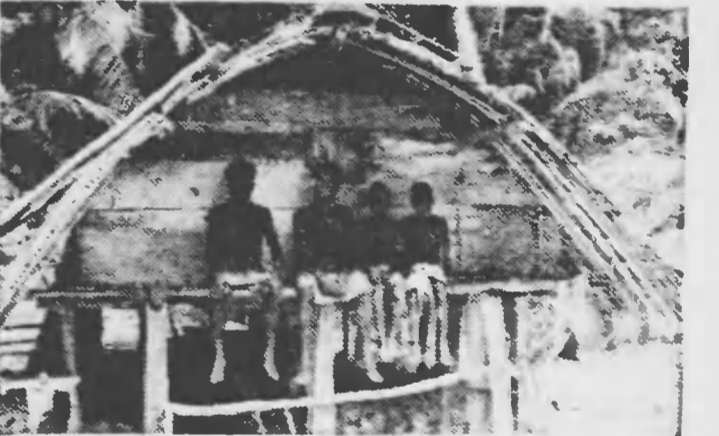


# ビスマルク群島

大東亞戦争の進展で全面的な敗退を喫した米英は南印の軍備を合してスラバヤに西南太平洋方面反共軍の最高司令部を設置し、亞細亞地中海に達して反共の機軸を盤へようと企圖した。早くもこの情報を嗅知したわが海軍航空隊は大膽してアンボン、バホ、ラバウル、テルナテなど敵の飛行基地を陸所に破壊、炎上させ、遂にわが海軍部隊は一月二十三日、敵の機軸を併進してビスマルク群島のニューブリテン島への作戦で、すでに陸軍の支配下にある地域は、南米ルネオのタラカンからニューギニア西部のバホ、ソロン、モルッカ群島のアンボン、ニューブリテン島、ニューブリテン島のラバウルまで約二千百里にわたる、南印作戦開始以來僅か五日間でかうした結果を挙げ得ることは實に驚異に値することである。さてニューブリテン島を含む新戦場ビスマルク群島とは一帯どんなところであらうか。

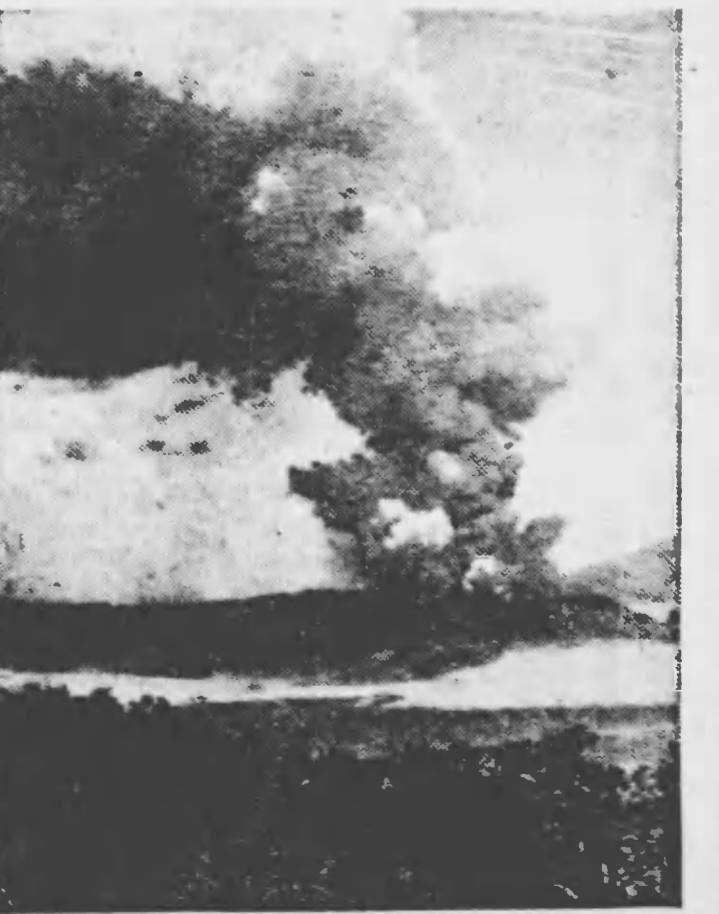


昭和十二年、ニューギニア島を襲撃して来た拓務省南島の成瀬憲氏に訊ねてみよう。



ニューブリテン島の住民の住居

わが南洋群島の最南端に位置するグリーンニッチ島から赤道を越え僅かに海西に進むとビスマルク群島が横はつてゐる。この群島はニューブリテン島、ニューギニア、ソロン、及びこれら諸島に附屬する小島を含み面積一七、六〇〇平方哩、人口は原住民約一五万人、その他歐米人、アジア人約三、〇〇〇人を算ふるに過ぎず東北ニューギニア本土と共に濠洲委任統治領である。本領の最高行政官である總督はニューブリテン島北部の美しいプランチン島に臨むラバウルに駐在してゐる。この地方はまだ未開の地であつて、その天然資源が豊富であるにも拘らず、海岸地方の僅少部分に栽培されてゐるココ椰子、ニューギニア本土の探金業、近海に産する高潮夜光貝の採集以外には産業としてみるべきもの



ラバウル市郊外にある有名な活火山の噴煙

なく徒らに原始林に覆はれた未開の寶庫である。濠洲政府は積極的に開發に當らうとしないので、資源は徒らに眠つてゐる状態である。原住民は生れながらにしてパーマネット・セイブの保持者であるバプア人(バプアとは縮毛を意味する)で、昔そのまゝの原始的生活を送り、僅かに海岸線地方の交通の便のよい所の者のみが文化らしいものに浴してゐる状態である。白人にとつて本領はお伽話の國として金持連中が豪華船に乗り遊覧旅行をする神秘的な遊園地に過ぎないのであつて、こゝにも持てる者の被壓迫民族に對する傲慢さをみることが出来る。

ラバウルは總督及び中央諸官廳の所在地であつて、市街は整然として歐人、支那人の商店が軒を並べ商取引は盛賑を極めてゐる。

海上から見たラバウルの街は、『南の嶼』、『北の嶼』と呼ばれる三火山を控へ、別荘風の洒落た白人住宅が椰子林の間に點々とし、靜かな南海の漣は強烈な太陽の光に照り映え、絹糸のやうに輝き、この美しい南國情緒は十分詩情を喚ぶものがある。當地にはわが南洋貿易株式會社の出張所があり、また邦人商店、理髮店、造船所等もあつて邦人は邦家のため南方開拓に挺身活躍してゐる。

本領に邦人が初めて足跡を印した年度は不明であるが、こゝに忘れられないのは小嶺吉翁のことである。氏は本地方邦人開拓の先驅者で一九〇一年(明治三十四年)同志と共に帆船で當領に渡り、探金業、造船業、ココ椰子栽培などを創め、三十幾年間、挺身奮闘を探險し、住民の馴化を助け、地方



總督の中央諸官廳が所在するラバウルの市街



サラマウアからワウへ飛行機によるトラック輸送風景

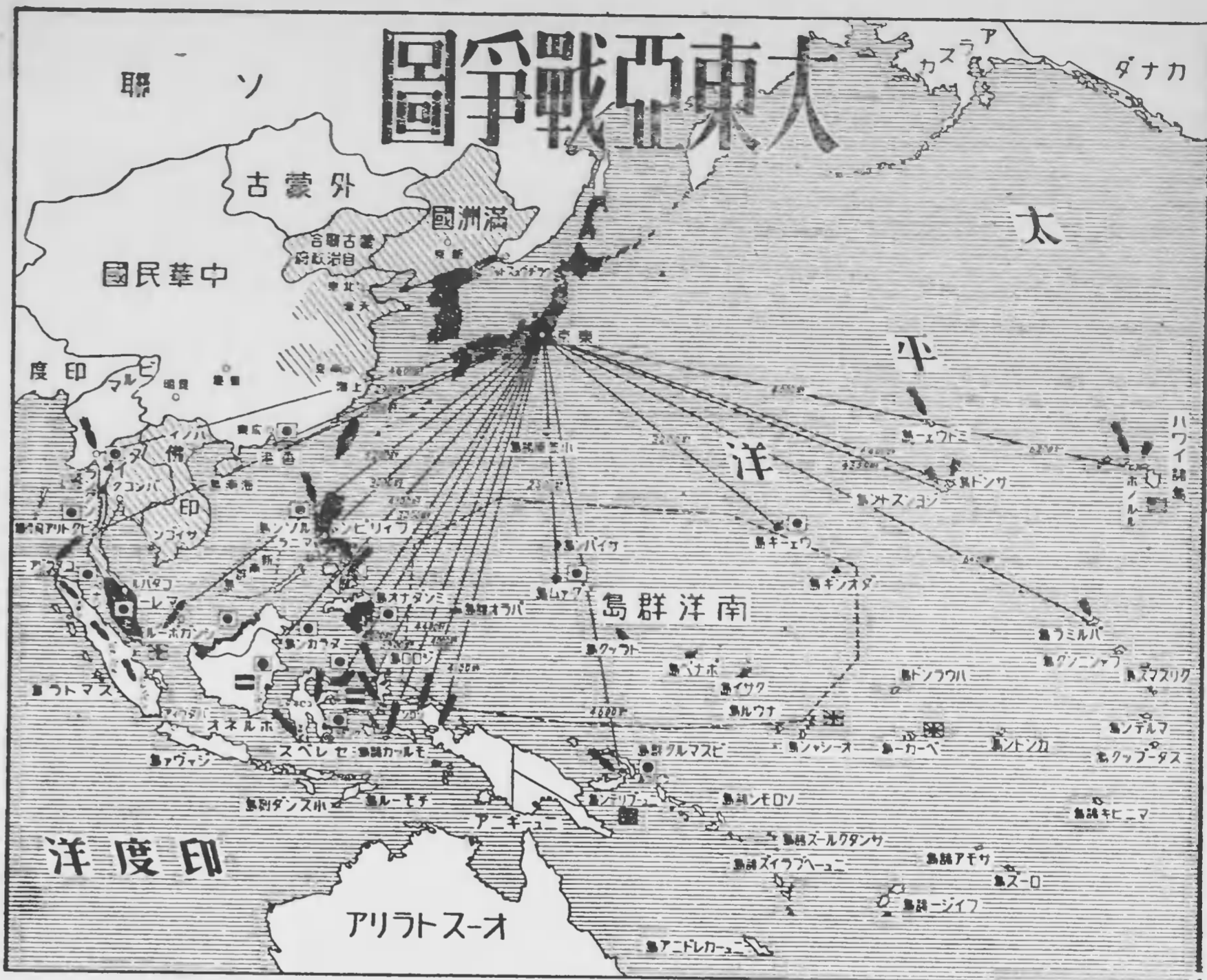


濠洲委任統治領ニューギニアの都、ワウの飛行場

開發のために心血を凝らした。殊に前世界大戦中敵艦コマット號を捕獲して機動をたてた後、マヌス島で椰子栽培をなす傍らラバウルで造船所を經營する等邦人のため重業意になつたが、不幸、蝦毒にあたり、遂に昭和九年長逝した。ラバウル市内の日本人共同墓地に懇ろに葬られてゐるが、現下の帝國の發展を地下で歡喜してゐることであらう。ラバウルの邦人数は一時は一〇〇人以上ゐたこともあつたが、現在は二〇名足らずではないかと思はれる。

濠洲領ニューギニア本土は産金地として世界の注目する處であつて、殊にモロベ地方は金、銅業の中心地で『エディークリク』『プロロ』等の金鑛區がある。これら鑛區への開闢が東海岸のサラマウアである。こゝは昭和の初め頃から開け、銀行、會社、ホテル、郵便局、電信局等があり、この方面としては設備の具つた部落である。近くに飛行場があり、奥地、濠洲への航空路の中心である。こゝから全領地方に通ずる中心部落ワウ(海拔一、〇〇〇呎)までは空路僅かに二十五分で到達する。奥地への道路は未だ開發されないため、物資の運搬はすべて飛行機を利用し、自動車、食糧、牛等を大型機によつて輸送してゐる。金は現地において鑛鑛し、運棒として同様飛行機で海岸線まで搬出してゐる。





### 大東亞戰爭日誌

**十六日** ●陸軍部隊は午前十一時頃マレー西海岸方面のバトバハ附近に上陸。比島方面の海軍軍艦はダガオ南方マリア及びビサン電報所を破壊。陸軍部隊は蘭領ボルネオ西部の望加錫を占領。海軍特別降参隊はセレベス島の最北端リタパンを占領。

**十七日** ●陸軍部隊はカウマイダン(タガオイ東北方、二十八キロ)附近に約六百の敵を奇襲これを潰滅。陸軍部隊はスマトラ島バカンバル飛行場を襲撃し大(中)型九機を炎上、五機を破壊。

**十八日** ●海軍部隊は第十八次シンガポール襲撃によりシンガポール東部西部諸島及び石油槽群を襲撃。なほコタチンキ上空の空軍を襲撃。陸軍部隊はシンガポールを襲撃。陸軍部隊はシンガポール市街中樞部の重要軍事諸機関を破壊。センパワン南部地区の油槽群を襲撃。(二)同行せる陸軍部隊は同市上空において敵バフアロー十機を撃墜。また他の一隊は同市北方において敵バフアロー一機を撃墜。(三)午前九時五十分、地上部隊の進軍に協力中の戦隊はマラッカ附近においてブレインハイム機三機を撃墜。更に午後二時三十分、ロケット機二機を撃墜。バフアロー機一機は油槽群を攻撃し三千トン級一隻、一千トン級二隻、五百トン級一隻に命中。海軍部隊はニキキニアのラバウル、ブナカナ飛行場を襲撃。ブナカナ飛行場において滑走路及び施設に全壊命中。

**十九日** ●午後七時三十分、陸軍部隊はタガオイを完全占領。なほ附近攻撃の結果、肉製品、山産物を獲得。

**二十日** ●陸軍部隊はマレー西海岸方面のバトリ及びパリアットス附近に、ムアール河左岸一帯の地帯を占領。この戦隊において敵の獨立第四十五師団を撃滅。マレー中部にてセガマトを完全占領。クアンタン方面よりの南下部隊はエンダウを占領。(二)重機部隊は市内軍事政治の中樞部に命中。陸軍部隊は他の部隊はセラー飛行機組立工場を襲撃。(三)重機部隊は持参中の戦隊は海軍特別降参隊に襲撃。

**二十一日** ●陸軍部隊は戦隊連合の大部隊をもってシンガポールを襲撃。市街中樞部、テナガール飛行場、セラー工場地帯を襲撃。海軍部隊は第二十次シンガポール襲撃結果、(一)シンガポール大政治中樞部に全壊命中。(二)同港在泊中の戦艦一隻を撃沈。一隻を大破。(三)テナガール飛行場を襲撃し大(中)型機十一機を炎上。または遊撃スピットファイアー一機を撃墜。

**二十二日** ●陸軍部隊はマレー西海岸のヨンベン西南地区に進出。海軍部隊は十五日以降蘭印方面にバリクパパン、マカッサル、パロボ、コナタレ、ケンダリ、テルナテ、ラバハ、アンボニンを攻撃し所在の敵機十機を撃墜。

**二十三日** ●陸軍部隊はスマトラ島のパレンバン飛行場を襲撃。

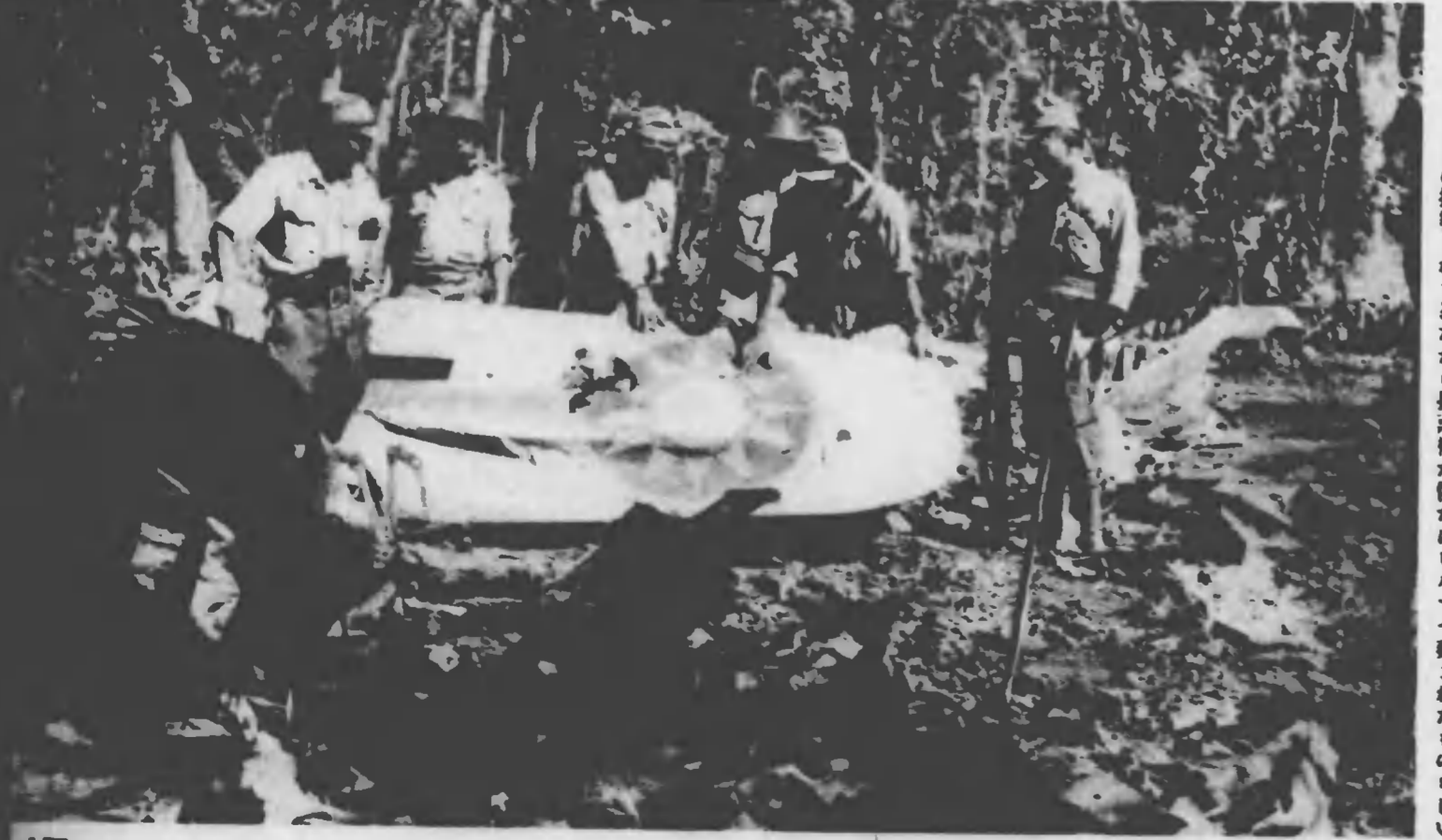
**二十四日** ●未明、陸軍部隊は聖なる協同の下にボルネオ島バリクパパンに敵前上陸。海軍特別降参隊はセレベス島ケンダリに敵前上陸。

**二十五日** ●泰政府は敢然米英に對し宣戦布告、直ちにビルマへ進軍を開始。



## ビルマへ進撃

皇軍の鋭鋒はついに援蔣最後の輸血基地ビルマに向けられた。またこれと相俟つて一月二十五日泰軍も米英兩國に對し宣戦を布告、數十萬の泰國軍隊は日泰協同作戦の立場から一齊にビルマへの出撃を開始した。東條内閣総理大臣は第七十九帝國議會再開劈頭の施政方針演説において、帝國は大東亞共榮圈建設にあつては防衛に必要な地域はこれを把握措置するも、ビルマに關してはフィリピンと同様、將來同島の民衆が帝國の眞意を了解し、共榮圈の一翼として協力してくるならば、欣んで彼等に獨立の榮譽



を與へんとするものである旨を宣明した。ビルマの民衆は過去六十年に亘つて絶えず暴虐な英國を呪ひ、その獨立を願つてきたのであるが、こゝに全ビルマ民衆の待望の日はつひにきた。ビルマにおける英國の勢力を一掃すべきビルマ進撃は開始されたのだ。

上 砲を分解してマレーン河を渡河するわがビルマ進撃部隊

下 泰・ビルマ國境で襲撃された敵機の残骸とその現場。飛行機はアメリカ製で、アメリカ人に操縦されてゐたから援蔣機が假かにビルマへ射されたものらしい



新戦場  
辞典

# ビルマ

環を切つた日英軍艦隊の進撃にビルマも亦新らしく戦場と化した。漂着五千里の後方、日軍進軍に追ひビルマとはどんなところであらうか、日本ビルマ協会川添日出生氏に訊く

ビルマは面積約六十萬平方キロで大體日本内地と朝鮮とを合わせた大きさであるが、人口は僅かに千六百六十萬に過ぎない

六十年前まではビルマは獨立王國であつたが、隣りの印度まで野望をたくましくさせて来た英國は、事を得てビルマに戦争をいどみ一八二五年(四曆)第一次英緬戦争が行はれ、これに敗れたビルマは廣大な領地を英國に割讓せられた。ビルマは折あらばこれを奪回しようとして試みたが、却つて英國の乗るところとなり、一八五二年の第二次、一八八五年(わが國の明治十八年)の第三次英緬戦争の結果、遂にビルマ全土は英國領となり、ビルマ人は無念の涙を吞み、それから今日に至るまで約六十年間英國領下に隷属する事となつたのである。一九三七年即ちわが國の昭和十二年、それまで印度の州であり、印度政府によつて統治されてゐたビルマは印度から分離し、新たにビルマ總督が置かれ、ビルマ内閣と議會が設けられる事になつた

ビルマ人は西蔵ビルマ族と稱され、東洋人種であり、印度人はアリア

種を以て、寸語を異にしてビルマの産業をみると、ビルマは國民の七割が農業に従事する農業國で、米を主な産物とし、輸出金額の五割を米が占めてをり、世界の米輸出國である世界でビルマに次ぐ米の輸出國はタイであるが、ビルマはタイの二倍を輸出してゐる。米に次いで石油で全輸出金額の二割を占め第三位のチークといふ木材が約一割となつてゐる。これらの産物のうち、米の半分石油の殆んど全部が印度に輸出されてゐる。一方ビルマには前述の産物以外に錫、タングステン(世界第二位)、鉛といふやうな物資が豊富にあるのに工業を起さず、印度に工業を起させてゐる。この事はつまり印度が獨り立ちしようと思つても、ビルマから原料を出さなければ工業が成り立たず、ビルマが獨り立ちしようとしても結局その豊富な物資が寶の持腐れとなるやうに、わざ／＼英國のした事なのである。錫だけは印度でなく海峽植民地を持つて行つて精錬するやうになつてゐるが、これもやはり印度の場合と同じく英國



ビルマ最大の油田マナジンの林立する油井

のするいやり方であつて、ビルマもマレーも獨り立ち出来ないやうにしてあるのである。そしてビルマが必要とする工業製品は外國から輸入するが、その半分は印度に仰いてゐるからした仕組にして置いて仲の悪いビルマ人と印度人の利害を対立させ、或る時はビルマの、或る時は印度の肩を持つて、どつちも獨立する力が出ないやうにするといふのが、



沈痛なイギリスの暴制をビクニクたに忘れる新らしいビルマ婦人たち



並兵に軍事訓練を受けるビルマ青年だが、その胸には祖國を思ふ熱情がたぎつてゐる

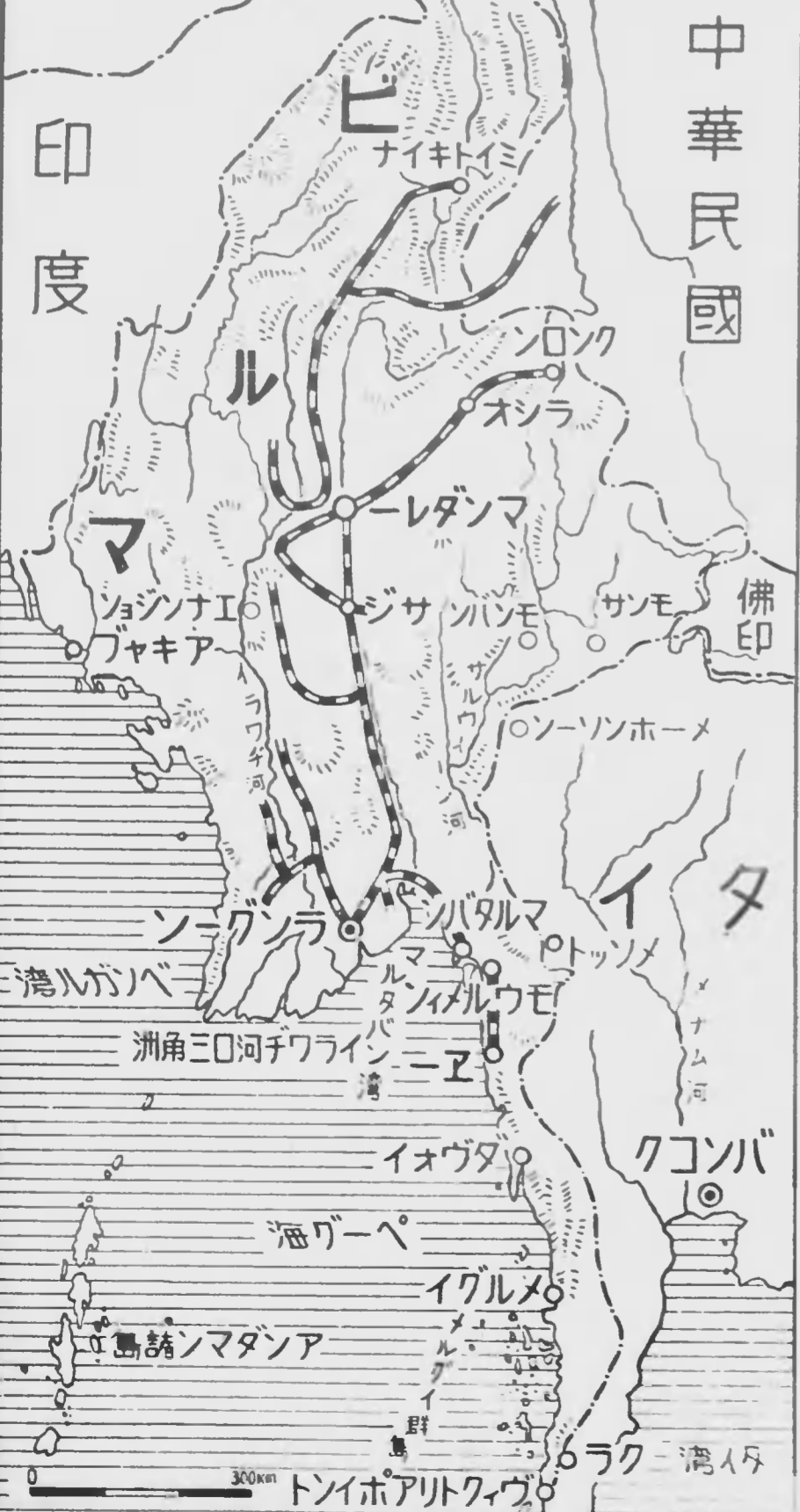
が勝手に政治をやつてゐるのであるから、援將ビルマートが出来るとも、ビルマの議會は援將などはお断はりたといふ決議をしたが何の効果もなく、最近もビルマの政界では英國のために日本と戦ふ事は厭だといつゝゐたが、實権がないために實行されない有様である

今日ビルマは英國にとつては非常に大切な國となつた。戦争に必要な錫、タングステン、鉛、銅はこれまで英國の會社にしか許されず、他の國人は勿論、ビルマ人にさへもなかなかやらせないやうにし、英國のアジア空軍のガソリンの大部分を供給するといはれる石油は、半官半民の會社で行ひ、全くビルマは英國のためにその骨までしやぶられてゐる形である

もと／＼無理矢理に英國の領土とされたビルマが反英的であるのは當然であつて、公然口に出さないまでもビルマ人の九分九厘までは親日的であり、滿洲事變の頃から今日あるまで待つてゐたのである。それ故第七十九議會頭における施政演説中、東條内閣總理大臣がビルマがわが國の眞意を了解し、大東亞共榮圏の建設に協力して来る時は、獨立を認めると明言された事は、過去六十年間英國の壓制下に獨立の努力を續けて来たビルマ人に明るい希望を與へたものであり、同じ東洋人種で同宗教のビルマ人が皇國の八柱一字の大理想の實現に協力出来る時は、われ兄弟の情を以て、温かく彼等の希望を満してやり、共存共榮の實をあぐべきであらう



緬甸下にあへくビルマートの始發點ラングーン停車場





# お嬢さん軍第六百六十号

陸軍被服本廠の女子挺身隊

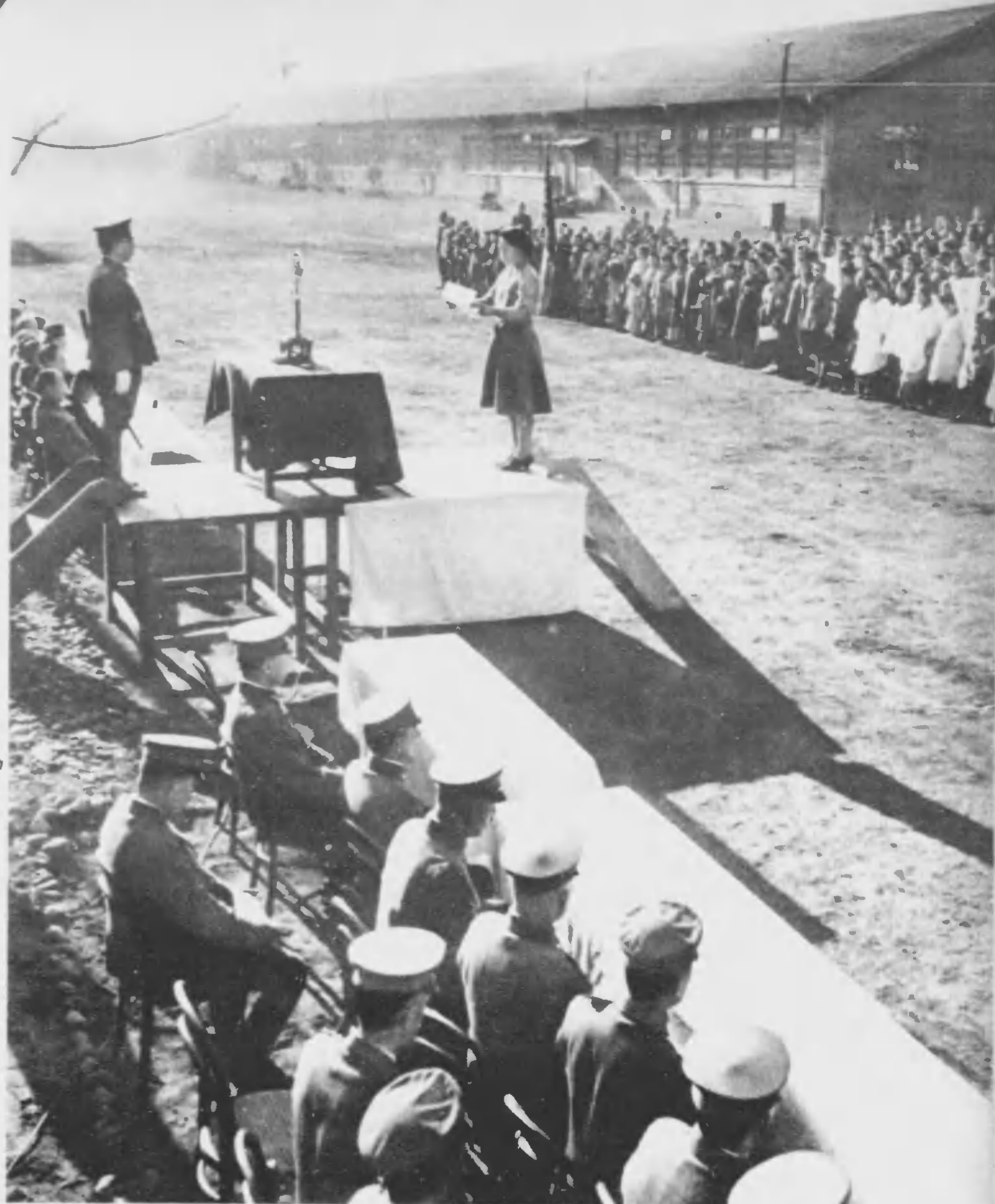


教育の深々しい指令に、何かうれしげな、懐かしいやうな、若い胸が震む。人所の望みからは、訓練訓練がまづ彼女たちを鍛へる。撮影 飛田 昌哉



軍服として人所する彼女たちは軍服の自分を完了すべきことを宣言する。しつかりやらう。然後女性の頼もしい決意が六百の胸に通ふ。

戦場の心を戦場の心とせよ、教育から聞き聞かされる戦陣の一節々々がひし／＼と胸を打つ。本當に戦場にある氣持で。



本廠に入所した挺身隊員は入所と同時に軍服の待遇を與へられ、一定の教育期間を経たのち、それ／＼被服の裁縫、整理、検査等の作業に従事することになるが、織手よく時局の要請に生きようとする彼女たちの決意こそ、然後女性の新しい進路をはつきりと示すものであらう。



戦果に應へて起ち上つた女性たち——一月下旬東京市總動員部では國家總力戰の建前から家庭にある有閑または非生産部面の女性に呼びかけて「陸軍女子挺身隊」を結成し、これを東京赤羽の陸軍被服本廠に勤務させて多忙をきはめる軍役の一半を擔はせようとしたところ、應募者多数殺到、銓衡の後その中から六百十名が晴れの「挺身隊員」として一月二十一日陸軍被服







實業週報 昭和十一年一月十一日 第三千七百七十七号 印刷部發行 東京 日本郵政省 第五六號



# 大東亞戰爭感謝貯蓄

大藏省 日本勸業銀行 出賣 二月二十一日 ← 三月二十日

内閣印刷局印刷發行

(列前紙面)・A4規格定額はより大の書本)